

## か も だ

家庭数

高知市立鴨田小学校 2023. 3. 1 (文責: 山中)



## 一日一日を大切にしよう

今日は3月1日。学年最後の1か月になりました。6年生にとっては小学校生活最後の月です。友だちとのかけがえのない日々を大切に過ごしてください。1年生から5年生までは、学年のまとめの1か月であると同時に次の学年への準備をする大切な1か月です。全学年、一日一日を大切に過ごしていきましょう。



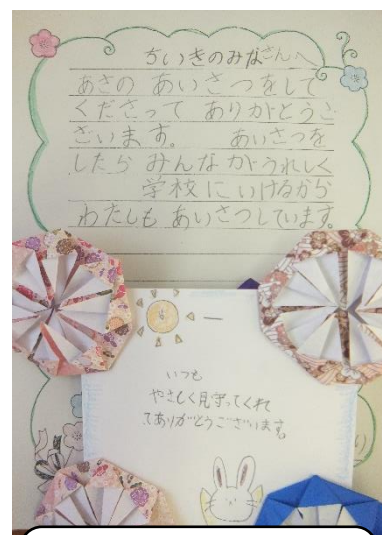
## 子どもたちの活躍をお知らせします

No. 13 では、子ども県展の結果をお知らせしましたが、他の場面でも活躍している児童がいますのでお知らせします。

- ・令和4年度「高知県珠算十傑」小学校の部 4位 佐藤 佑星さん(4年3組)
  - ・第75回高知市小・中学生科学展覧会「特賞」動物Ⅱ 高知市議会議長賞  
“トンボの研究～三軒となりはトンボの楽園！？～” 一色 遙翔さん(5年4組)
- 日頃の努力が実を結びましたね。おめでとうございます。

## 感謝集会☆地域の皆さん、いつもありがとうございます

2月21日(火)、日頃お世話になっている地域の皆さんに、子どもたちからお礼を言う感謝集会を行いました。コロナ前は、体育館で全校児童が集まって行っていました。今年度もテレビ放送(タブレット放送)で、企画委員会児童が進行などを担当し、感謝状(メダル)をお渡しすることができました。地域からは岡田達明さん、野中耕司さん、近森まきさんの3名の方が代表で参加してくださいました。贈呈式終了後、地域の皆さんが各教室を回ってくださり、各クラスで「いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。」と感謝の言葉をお伝えしました。また、各教室を回りながら、児童たちに進級に向けてがんばれエールをいただきました。かもだ学級さんからは感謝カードと、野中さん・近森さん達と一緒に種から育てた大根を冷たい夜に干した“凍(しみ)大根”を今年もプレゼントしました。毎朝の交通安全指導や学年行事の支援、花壇のお世話など、1年を通じて鴨田の子どもたちが大変お世話になっています。ご家庭でもお子さんの話を聞いてあげてください。



感謝カード(上)  
感謝状(メダル)(下)

## 3年ぶりのウォークラリー☆児童たちの笑顔と笑い声

2月21日(火)、6年生が考えたゲームを縦割り掃除の班で、楽しくぐるぐる回りながら交流しました。5年生が下級生に優しく声をかけながら、班のリーダーとなり28カ所のゲームコーナーを時間いっぱい回りました。ゲームを進める6年生は、優しく丁寧に説明したり、楽しんでほしいという気持ちのこもったゲ

ームの準備や飾りつけ等をしたたり『さすが6年生!』という姿を見せてくれました。ゲームをしている児童たちからは、たくさんの笑顔や、笑い声があちらこちらから聞こえてきました。学校全体が活気に溢れ、楽しい学校行事となりました。



的当て



ドキドキ玉入れ



ストラックアウト



箱の中身はなんだ?

## 心があたたまる話

1月6日(金)の高知新聞に、地域の方が投稿してくださった記事を紹介します。

先日私は、路上で不慮のけがをした。その時、付近で立ち話をしていた2人の中学生がとんできて、立ち上がろうとする私を両脇で支えてくれた。額のけがを気遣ったり、119番を呼ぼうかと案じたりしてくれる。記章を見ると西部中学校の生徒らしい。私の家までゆっくりゆっくり連れて行ってくれ、名前は告げず笑顔で帰られた。かつて教職にあった身、児童生徒に常日頃関心はある。本欄「小中高生コーナー」の記事も目を通す。校名氏名は載っている。学校のこと、社会のこと、自分たちのことを投稿したもの、顔がうかがえるナマの声。けがを気遣い半時間も付き合ってくれた中学生、顔を見せての親切であった。最近の社会人は、テレビ以外のメディアに親しんでいそう。新聞を読むよりスマホが得意らしい。交流サイト(SNS)についても新聞でみると、匿名での情報のやりとりをしていて、社会的に問題化している。ナマが見えないらしい。多様な生き方、考え方ある今、それも許されよう。しかし、氏名はあえて言わず笑って去った中学生や、新聞のコーナーで社会に訴える小中高生の存在に、心強さを覚えさせられる。情報多岐の今日、顔が見える若者たち、民主主義社会の大人に育ってほしい。

鴨田小学校出身の生徒です。鴨田小学校では、上級生が困っている下級生に声をかけていることはよく耳にしますが、中学生になっても、恥ずかしがらず、困っている人を助けようとする気持ちが育っていることを、とてもうれしく思いました。知らない人に声をかけるには勇気がいりますが、声をかけるだけでなく、ご自宅まで送って行った、本当に心の優しい2人。きっと素晴らしい大人になっていくでしょう。鴨田の子どもたちも、思いやりの気持ちを持ち、社会に役立つ人に成長していってくれると信じています。